



座学だけでは得ることができない実践的な本物の学びを

The REAL

Vol.1 2019.06.17

本物のビジネス社会を知る、現役の企業経営者が教える!!

兵庫大学現代ビジネス学部 現代ビジネス学科では、座学だけでは得ることができない実践的な本物の学びを展開するため、現役の企業経営者による講義を開講しています。現代のビジネス社会で生き抜くための「起業家精神」や「起業家的資質・能力」を育成するため、座学での知識習得に加えて、知識を実践で経験へと昇華させるための「プロジェクト型学習(PBL)」を実施しています。



地域活性化のプロフェッショナル 松本 茂樹 教授

株式会社アシストワン 代表取締役

銀行出身で、現在ベンチャー企業や地域活性化を支援する株式会社アシストワンの代表取締役を務める松本茂樹教授。現代ビジネス学部では、大学祭を活用したカンパニープロジェクト、ビジネスプランコンテストへの積極参加のほか、地域活性化を目的とした数々の取り組みを積極的に実施。日本地域創生学会関西支部の支部長でもある、まさに地域活性化のプロフェッショナルです。本学では特に、地域課題を地域住民が主体的にビジネスを用いて解決する「コミュニティ・ビジネス」に注目し、プロジェクト型学習(PBL)を実施しています。地域課題解決のためのビジネスの場を創造することで、地域での創業や就業の機会を増やし、地域社会の自立性やコミュニティ再生が期待されている分野です。



Pick up 講義

起業家塾

起業家教育とは、なにも起業家や経営者を目指す人にだけ必要な特殊な教育ではありません。高い志や意欲を持つ自立した人間として、他者と協働しながら新しい価値を創造する力をはじめとする、これからのビジネス社会を生き抜くために必要な力の育成のための教育です。チャレンジ精神、創造性、探求心などの「起業家精神」や、情報収集力、分析力、判断力、実行力、リーダーシップ、コミュニケーション力などの「起業家的資質・能力」の育成を目指し、歴史を変えた起業家からの学びや神戸ベンチャー研究会への参加、ビジネスプランコンペへのエントリーなど、座学と実践を交えて学んでいきます。



本物に触れて **REAL** な体験で学びを活かす！ 現代ビジネス学科のプロジェクト型学習 (PBL)

兵庫大学の現代ビジネス学部 現代ビジネス学科では、座学だけでは得ることが難しい実践的な本物の学びから、社会の即戦力となる人材を育てることを目的として「The REAL」と銘打って様々なプロジェクト型学習 (PBL) を実施しています。

2018年
入賞

2018年には見事入賞！「ビジネスプランコンペ」

一般社団法人神戸ベンチャー研究会が主催する、学生を対象としたビジネスコンテストへ毎年参加しています。このコンテストは、日本政策公庫や兵庫県などが審査員を務め、昨年で15回目を数えるとても権威のあるコンテストです。そのため、関西一円から多くの学生が毎年エントリーしてきます。

本学では、2年生からこのコンテストに参加することができ、数名でのチーム参加から個人の参加も歓迎しています。昨年は、3年生から6チーム、2年生から5チームがエントリーし、そのうち2年生の3チームが見事1次審査を通過し、一つのチームは入賞という栄誉に輝くことができました。

IoTを活用して社会問題を解決！

その入賞した企画はというと、ママと赤ちゃんにやさしい「ふぉろあかーと」と題した買い物客をフォローするショッピングカートの開発でした。具体的には、ベビーカーとショッピングカートの両方を同時に押しながら買い物するなど不自由を感じている買い物客に対して、ブルートゥースでショッピングカートが買い物客を追従していくサービスです。この企画は、顧客へのサービスロイヤリティを高めるだけでなく、ショッピングカートを通じて食

品メーカーは商品情報を発信することができ、店舗からは顧客の購入情報をデータとして食品メーカーへ提供することができる3者がトリプルウィンとなるビジネスモデルがしっかりと構築されていただけでなく、IoTを活用したことや社会問題である子育てにスポットを当てたことが高い評価に繋がりました。



地域を巻き込んだ一大プロジェクトも展開！

今後の展開としては、クラウドファンディングで資金を調達し、実際にショッピングカートを製作して地元の加古川商店街で実用化に向けた実証実験を行う予定になっています。開発においても地元の明石高専と連携して行うなど、地域を巻き込んだ一大プロジェクトになる予定です。

これらの経験から、AIやIoTを活かしたビジネスをクリエイティブする力を養い、自ら起業したり自分の能力を活かせる会社へ就職し、社会問題をビジネスの手法で解決できる人材を育てていきたいと考えています。

学生が株式会社を設立！「カンパニープロジェクト」

カンパニープロジェクトとは、学生が1チーム10人で1株1,000円で資本金10,000円+αの会社を設立して、大学祭で実際に営業活動を行う実践的なプロジェクトです。会社名から事業内容(商品やサービス)を学生たちで考え、社長、マーケティング部長、ファイナンス部長、監査役、社員といった役割を決めて会社経営を体験します。大学祭の後にはちゃんと株主総会を開催し、情報を開示し株主からの厳しい質疑応答に答えるなど、本物さながらの激論が繰り広げられます。

1年生全員参加。自ら考え売上・利益を上げる！

このプロジェクトには、1年生にビジネスを学んでもらうために全員が参加し、基本的には教員は見守るだけで指示や口出しは行いません。その結果、利益を上げることができず赤字となってしまう会社や、なかには倒産してしまう会社も出てきます。このように多くの小さな失敗を経験できることもカンパニープロジェクトの醍醐



味でもあります。

株主総会で、社長更迭の事態も！?

昨年のプロジェクトでは、経営陣に危機感を持った社員が臨時株主総会を開催し社長を更迭させる会社があったり、資金の融資を銀行から断られた会社があることにより一致団結して売上・利益ともに最高金額を示すなど、とても面白い場面が多くありました。最終的には、利益の半分を社会貢献のために、こども食堂へ寄付することになっていることも学生にとってやりがいを持って取り組むことができる一因になっているようです。

これらの経験から、世界の最先端ベンチャー企業で大切にされている、チームビルディングやプロジェクトマネジメントの能力を1年次から学び身に付けることができ、将来は社会に出てプロジェクトリーダーとして活躍できる人材を育てていくことができると考えています。



兵庫大学

現代ビジネス学部
現代ビジネス学科

兵庫県南部のほぼ中央に位置する兵庫大学。
地域に求められる人材を数多く輩出している理由は、
本物を追求した学びと恵まれたキャンパスの立地にあります。

産学連携により、地域活性化に寄与できるプロジェクトに積極的に取り組む現代ビジネス学科。キャンパスのある加古川市をはじめ、高砂市、稲美町、播磨町など人口約42万人を超える東播磨地域との連携により、地域のさまざまな課題解決に取り組んでいます。まさに、REALな学びのフィールドの真ん中にキャンパスがあると言えます。

